

# 第47期 中間報告書

平成30年4月1日 ▶ 平成30年9月30日



社会を支え、未来を創るITソリューションカンパニー



## 日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

証券コード：4323

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会：毎年3月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。) 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) (住所変更、单元未満株式の買取等については株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ	<a href="http://www.jast.jp/">http://www.jast.jp/</a> (日本語) <a href="http://www.jast.jp/en/">http://www.jast.jp/en/</a> (英語)
証券コード	4323

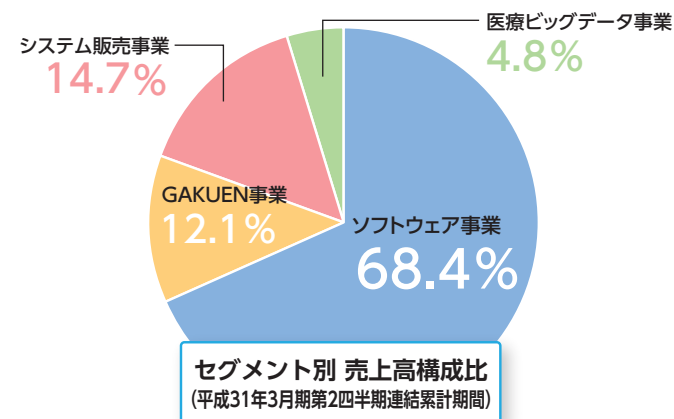
 日本システム技術株式会社  
Japan System Techniques Co., Ltd.

〒108-8288 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル27階  
〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー29階

## 事業紹介

### 広範な情報サービスと自社ブランドの確立

長期安定的成長を目指す当社グループ(当社及び連結子会社)は、ソフトウェア事業、GAKUEN事業、システム販売事業及び医療ビッグデータ事業の4つの事業領域で、グローバルなサービスを提供しています。



### ソフトウェア事業

ビジネスアプリケーション分野(事務処理系システム)、エンジニアリングアプリケーション分野(通信・制御・技術系システム)といった2つの分野で、顧客の個別ニーズに合わせたオーダーメイド方式によるソフトウェアの受託開発等を提供しています。

### GAKUEN事業

教育機関向けパッケージの開発・販売を行っています。学校業務関連市場で圧倒的なブランド力を誇る戦略的大学経営システム「GAKUEN」を中核に、最新の文教ITサービスを提供しています。

### システム販売事業

ハードウェア・ソフトウェア・インフラの統合販売、保守、ネットワーク構築を提供しています。

### 医療ビッグデータ事業

電子レセプト自動点検システム「JMICS」による医療情報データの点検、分析及び関連サービスの運用を通じて、保険者様における医療費の適正化と加入者様の健康増進の実現を支援しています。



第47期第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨今の世界経済の不安定な景況の下、中でも環境変動が激しいIT業界に

あって、当社グループでは将来にわたって持続的な成長を実現すべく、2020年度(平成33年3月期)をターゲットとした中長期的な経営の基本方針「JASTビジョン2020」を掲げています。当期も当該計画の目標達成に向けた諸施策に取り組み、受託開発型ビジネスの案件規模拡大及び収益性・生産性の向上と、自社ブランド製品を核とする当社主導型ビジネスの一層の拡大を推進するとともに、最先端テクノロジーを中心とした研究開発や、自社ブランドの海外販売戦略の強化並びにM&Aを含めたアライアンスの拡大等に注力いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、ソフトウェア事業につきましては、官公庁向け案件等が前年を下回った一方で、製造業、通信業、サービス・流通業及び教育機関向け案件等がそれぞれ増収となり、売上高54億92百万円(前年同期比13.9%増)、営業利益2億77百万円(同275.4%増)となりました。

従来の「パッケージ事業」につきましては、第1四半期連結会計期間より名称を「GAKUEN事業」に変更しております。GAKUEN事業につきましては、導入支援、仕入販売及びEUC(End User Computing：パッケージの周辺システムの受託開発)等が前年を上回った一方で、収益性の高い大学向けPP(プログラム・プロダクト)が減収となり、売上高9億69百万円(前年同期比1.9%減)、営業損失60百万円(前年同期は営業利益62百万円)となりました。

システム販売事業につきましては、大学及び公共系案件の増収により、売上高11億80百万円(前年同期比48.3%増)、営業利益1億45百万円(前年同期は営業損失9百万円)となりました。

医療ビッグデータ事業につきましては、レセプト自動点検サービス及び分析・医療費通知サービスが堅調に推移したも

の、組織増強等のコスト増先行により、売上高3億82百万円(前年同期比1.6%増)、営業損失1億3百万円(前年同期は営業損失36百万円)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高80億24百万円(前年同期比14.9%増)、営業利益2億63百万円(同182.6%増)、経常利益2億80百万円(同136.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億75百万円(同189.6%増)と、前年同期と比較して、売上高及び各利益指標が全て増加し、堅調な業績状況となりました。

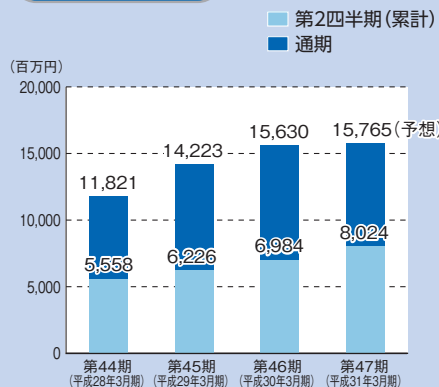
また、第47期通期の連結業績予想は、売上高157億65百万円(前連結会計年度比0.9%増)、営業利益8億65百万円(同16.7%増)、経常利益8億75百万円(同11.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5億85百万円(同1.0%増)の増収増益を見込んでいます。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

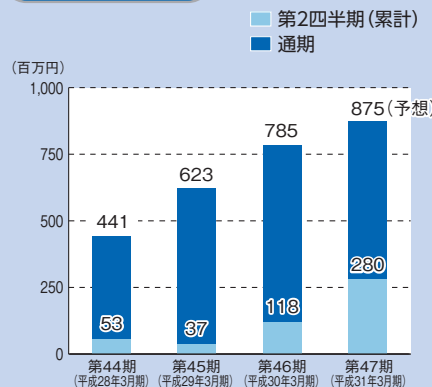
代表取締役社長執行役員 **平林武昭**

連結財務ハイライト

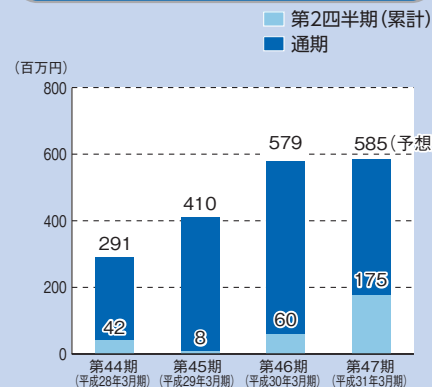
売上高



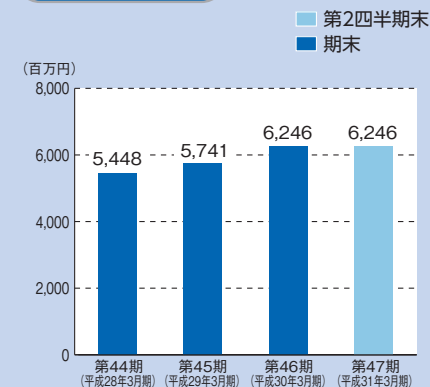
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



純資産



# JASTのグループ拠点展開

当社は、現在急成長を遂げるASEAN地域でも事業を展開しています。

## TOPICS 1 // タイ

### JAST Asia Pacific Co., Ltd. を設立

当社は平成30年4月20日、タイの首都バンコクに国際地域統括拠点 (International Headquarters: IHQ) となる子会社JAST Asia Pacific Co., Ltd. を設立しました。7月より本格的に営業を開始しており、今後はシンガポールやタイ以外の周辺地域への事業拡大も視野に入れながら、当社グループのASEAN地域を中心としたグローバル展開を指揮する拠点として活用してまいります。



#### タイ

- JASTEC (THAILAND) CO., LTD.
- JAST Asia Pacific Co., Ltd.

#### シンガポール

- JAST TECHNIQUES PTE. LTD.

#### 中国 上海

- 上海嘉峰信息科技有限公司

#### 東京

- 日本システム技術株式会社 東京本社
- アルファコンピュータ株式会社
- 株式会社アイエスアール

#### 大阪

- 日本システム技術株式会社 大阪本社
- 株式会社新日本ニーズ
- Safe Needs株式会社

#### 中国 桂林

- 桂林安信軟件有限公司

#### マレーシア

- Virtual Calibre SDN. BHD.
- Virtual Calibre MSC SDN. BHD.
- Virtual Calibre Consulting SDN. BHD.

## TOPICS 2 // マレーシア

### Virtual Calibre グループの株式取得 (子会社化)

当社は、平成30年8月21日の取締役会で、マレーシアの独立系システムコンサルティング会社であるVirtual Calibreグループ傘下3社の子会社化を決議いたしました。同グループは、ERPパッケージであるSAP製品に係る導入、保守サポート等に特化した事業を営んでいます。同グループを迎え入れることにより、マレーシアのみならず、ASEAN全域へのビジネス基盤拡大、在ASEANの当社子会社の事業拡大及び中長期的な日本でのSAP事業拡大のチャンスが拡がり、当社グループの成長力を更に促進させるものと見込んでいます。



Virtual Calibre SDN. BHD. (VCSB)	Virtual Calibre MSC SDN. BHD. (VCMSC)	Virtual Calibre Consulting SDN. BHD. (VCC)
----------------------------------	---------------------------------------	--

事業内容      ソフトウェア開発、コンサルティング、ITマネージメント

# 会社概要

## 会社概要 (平成30年9月30日現在)

社名	日本システム技術株式会社 Japan System Techniques Co., Ltd. (略称JAST)
設立	昭和48年3月26日
資本金	10億76百万円
従業員数	740名

## 役員体制 (平成30年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	平林武昭	執行役員	六車千春
取締役執行役員	大門紀章	執行役員	山田賢二
取締役執行役員	伴浩明	執行役員	中尾昭宏
取締役執行役員	佐々木優	監査役	園田勝明
取締役執行役員	土屋祐二	監査役(社外監査役)	妙中茂樹
取締役(社外取締役)	山科裕	監査役(社外監査役)	最上次郎
取締役(社外取締役)	細江浩		

## 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

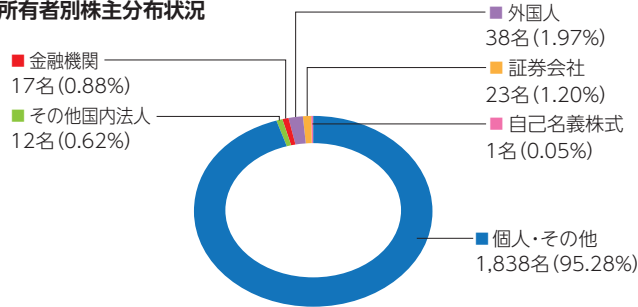
発行可能株式総数 16,000,000株

発行済株式総数 5,612,230株

(自己株式364,210株を含む)

株主数 1,929名

所有者別株主分布状況



## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
株式会社ジャスト	1,450,100	27.64
日本システム技術従業員持株会	701,040	13.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	359,200	6.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	151,500	2.89
平林 卓	139,320	2.65
平林 武昭	93,300	1.78
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	71,600	1.36
BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS (E) BD	70,810	1.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	61,100	1.16
丸山 真道	60,610	1.15

(注1) 上記のほか、自己株式が364,210株あります。

(注2) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

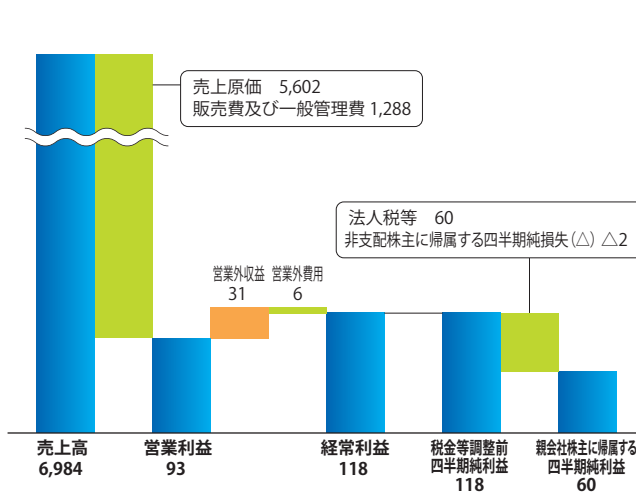
# 財務データ

## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

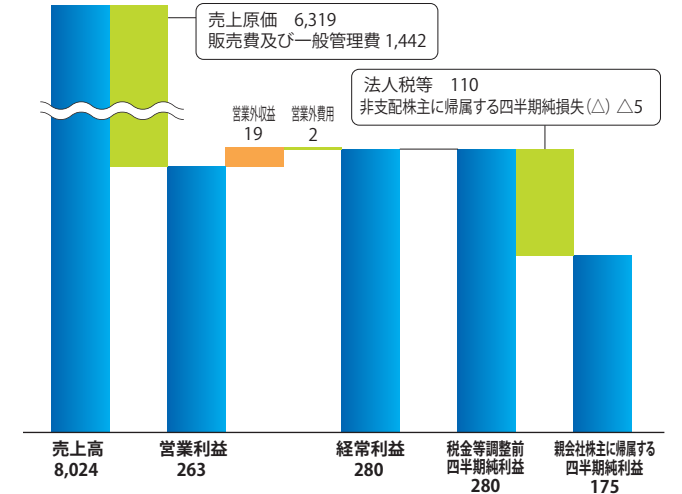
### 前第2四半期(累計)

(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)



### 当第2四半期(累計)

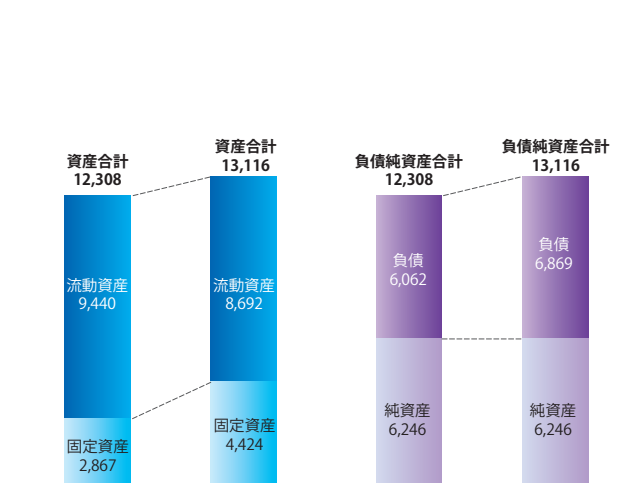
(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)



## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

前期末 (平成30年3月31日現在) 当第2四半期末 (平成30年9月30日現在) 前期末 (平成30年3月31日現在) 当第2四半期末 (平成30年9月30日現在)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

### 当第2四半期(累計)

(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

